

# スプリングレビュー調書

公園緑地部  
生活文化部・商工部・学校教育部

## 【協議事項】

浜松城公園整備事業について

## 【現状と課題】

- ・公園：平成 21 年度は、浜松城公園歴史ゾーン整備基本構想（平成 20 年度策定）に基づき発掘調査を行い、現在、天守門・富士見櫓等の復原に向け調整している。歴史ゾーンについては、平成 24 年度から天守門の復原工事着手を計画しているが、浜松城公園全体の整備計画の策定にあたっては、文化・教育・観光等に関連する諸課題の解決と調整が必要である。
- ・美術館：時代の流れや老朽化等を背景とした市民からの新美術館建設への要望に伴い、平成 21 年度に「新美術館基本構想」を策定し方針を定めている。
- ・文芸館：平成 21 年度の施設評価の結果、機能は「移転」、施設は「廃止」となった。平成 22 年 6 月に「廃止計画」「再配置計画」を策定する予定で、現時点では移転先も移転時期も未定である。
- ・松韻亭：平成 21 年度の施設評価の結果、「継続」とされた。
- ・小中一貫校：平成 21 年 2 月議会において、中部中学校区については、「小中一貫校のモデル校を設置していきたい」と答弁している。現在までに中部中学校・元城小学校 PTA では「小中一貫校の設立要望」を決議、北小 PTA からは「小中一貫校に関する要望・提言」が提出されている。
- ・観光：浜松城公園内への「のぼり旗：家康の散歩道」の設置や、浜松の旅サポートブックでの紹介により、浜松城が家康ゆかりの城であることをアピールし観光振興を図っている。

## 【課題解決に向けた今後の方向性】

- ・公園：浜松城公園歴史ゾーン整備基本計画の策定において、今後の歴史ゾーン整備の方向付けを固める。浜松城公園全体の整備計画は、小中一貫校の方向性等を見極めながら、全庁的組織体制を整え検討を進める。
- ・美術館：新美術館基本構想では、新しい美術館は、歴史や文化とともに都心に豊かな自然環境を残している「浜松城公園の一角に設けることが望まれる」との方向性が示されている。
- ・文芸館：平成 22 年 6 月に「廃止計画」「再配置計画」を策定する。
- ・松韻亭：引き続き、指定管理者により施設運営を継続する。
- ・小中一貫校：中部中学校区において、方向性を決めていく。

## 【今後の主要事業(案)】

- ・公園：平成 22 年度に、浜松城公園歴史ゾーン整備基本計画の策定と発掘調査を実施する。平成 23 年度には歴史ゾーンの実施設計を行い、平成 24 年度には、天守門復原に着手する。
- ・美術館：平成 22 年度に、新美術館基本構想を基に建設準備委員会を設置し、建設に伴う基本計画策定のための準備等を進める。
- ・文芸館：平成 22 年度に、文芸館の廃止・再配置計画を策定する。
- ・小中一貫校：平成 22 年度に、地元の理解を得ながら方向性を決めていく。

## 【協議要旨】

- ◆ 今後の取り組み方針について確認した。公園整備について、関係課によるプロジェクトチームの設置を行う。